

2026年4月2日
公益社団法人福島相双復興推進機構
(福島相双復興官民合同チーム)

震災から15年。先代の意思を継ぎ新開魚店3代目の吉田友保様が
「**新開水産**」を**4月3日(金)**南相馬市小高区にオープン

新開水産では、福島の産地市場で仕入れた鮮魚や活魚に鮮度を保つ処理を施し、首都圏飲食店などの注文に応じて出荷する水産物の直接販売事業を主に行います。

販売事業の特徴として、仲買人より産地市場の水産物を直接仕入れることによりコストを下げ、店舗で魚の鮮度を保つための処理・加工を行い、保存・仕分け後、直接飲食店へ販売いたします。

開業直後は首都圏の飲食チェーン店などの直接販売のみですが、その後は地元飲食店や地元スーパー、地域住民への小売り販売も予定しております

【開業日】

2026年4月3日(金) 9:00

【施設概要】

住所：福島県南相馬市小高区大井字下山畑9-1

事業者：吉田 友保

営業時間：月～金(土・日・祝日休み) 8:00～17:00

【お問合せ】

TEL：080-6882-0247

LINEID：tomo49524

※魚に関する知識、技術を活用して福島水産物の魅力を発信しております。



【新開水産】について

「新開水産」の前身は新開魚店であり、1960年に南相馬市小高区で創業し手作りのアカメフグの干物が好評で、地元は勿論のこと遠方からのお客さまもはるばる来店する人気の魚屋でした。

事業者の吉田友保様は新開魚店店主のご子息であり、お父様が、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故により休業・避難を余儀なくされ、避難先での事業再開か地元の小高区へ戻り事業再開するか悩む中、ご子息の吉田友保様が2025年に事業承継されました。先代の父親の意思を受け継ぎ、「育った町を復興したい」「魚屋でもあり、福島出身の自分だから出来る事業をしたい」という強い思いを持ち、元勤務先のネットワークを活かした市場を介さない取引などにより、首都圏へ「常磐もの」をお届けしていきます。

以上